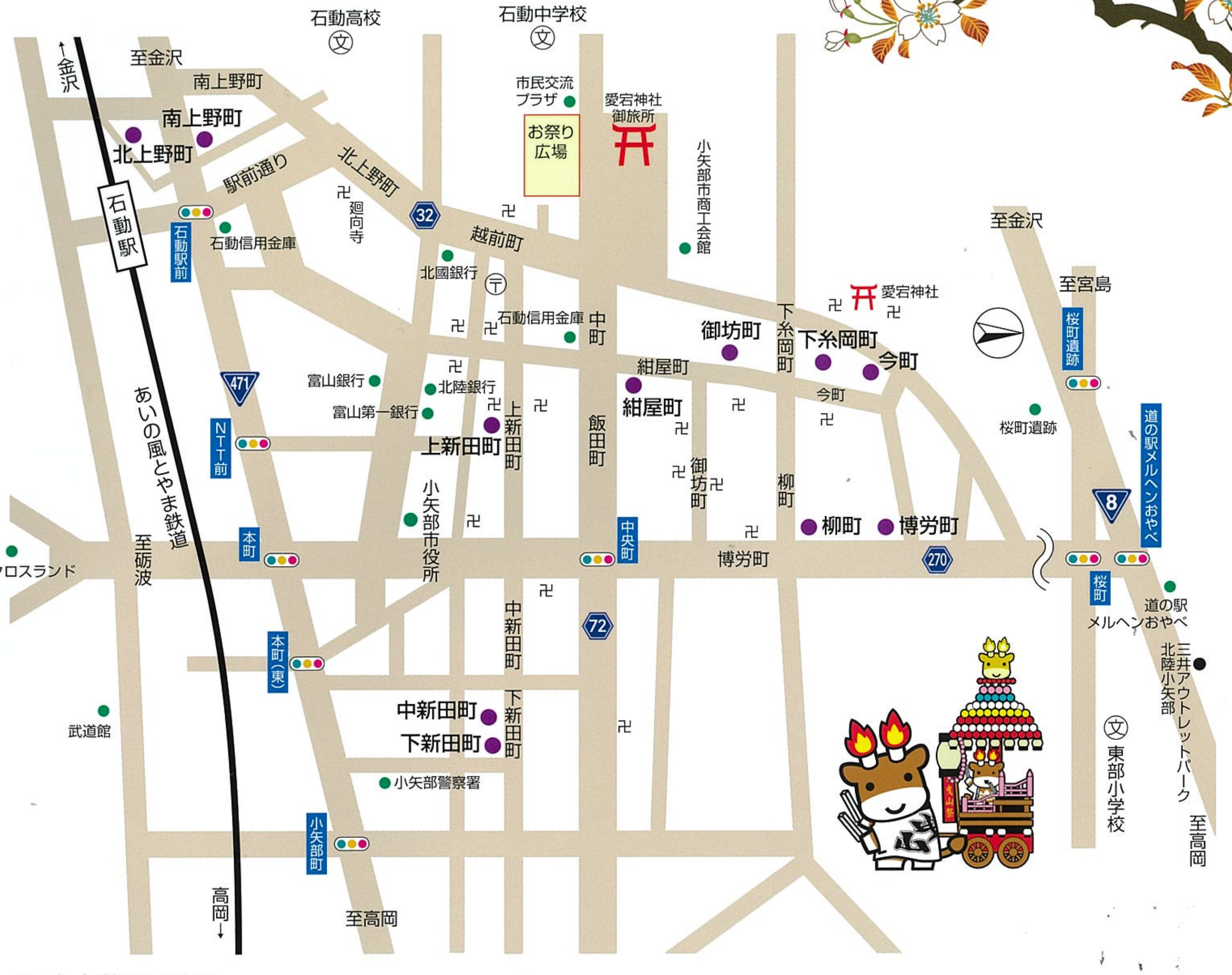
小矢部市指定文化財

石動(いするぎ) 曳山祭

4月29日(祝)

絢爛なるは十一の花山車
軋音が歴史を刻む

花山車 案内図



● 曳山蔵の所在地

●小矢部市へのアクセス

小矢部市観光協会
ホームページ ▶

石動曳山連盟

〒932-0048 富山県小矢部市八和町5-15 TEL(0766)67-0756 FAX(0766)67-6353
URL▮https://www.shokoren-toyama.or.jp/~oyabe/ E-mail▮oyabe@shokoren-toyama.or.jp

小矢部市商工会

〒932-0048 富山県小矢部市八和町5-15 TEL(0766)67-0756 FAX(0766)67-6353
URL▮https://www.shokoren-toyama.or.jp/~oyabe/ E-mail▮oyabe@shokoren-toyama.or.jp

小矢部市観光課

〒932-8611 富山県小矢部市本町1番1号 TEL(0766)67-1760 FAX(0766)67-1567
URL▮https://www.city.oyabe.toyama.jp/ E-mail▮kankou@city.oyabe.toyama.jp

小矢部市指定文化財
石動花山車

御坊町

創建年代は、宝暦二年（一七五二）、城端大工町で制作、本体の塗りも完成したのは安永三年（一七七四）である。
・祭神…千枚分銅　だし…鼓と笛
・彫刻…鏡板「尉と姥」　上段側面鶴亀／後部七福神
　　下段側面八千人／人形…四天王
この山車は本体だけは、約二百五十六年前に出来たがそれ以前に現在のだしの原型である翁の面と鼓・笛が加賀白馬山麓にあったという言い伝えがある。

下糸岡町

本体は、太鼓山車として文政六年（一八二三）に創建、明治三十三年に花山車に改造。
・祭神…大黒天　だし…あげ羽蝶
・彫刻…鏡板／「聖賢像」　舞台下／虎と十二支と唐子
車体は手の込んだ透かし彫りで、かまちから上部の彫刻は明治三十三年当時でも高額で、さらに勾欄の漆と金箔等には昭和二年当時で相当の経費を充当している。

紺屋町

創建年代は、天保五年（一八三四）、補修は弘化二年（一八四五）
・祭神…恵比寿　だし…桐葉三枚に分銅
・彫刻…鏡板／「黄石公と張良」　舞台下／唐子と水波
　　作者／井波町大島五雲父子
鏡板の黄石公は中国秦時代の隠者で、張良に兵法を授けた人物。舞台下は螺鈿で、車体は総塗りの打抜き金具付きの豪華なものである。

柳町

創建年代は、文政十一年（一八二八）飾り山車として、能州所口（七尾の付近）近江屋勘四郎製作。
・祭神…壽老人　だし…笹竜胆
・彫刻…鏡板／「聖賢」　舞台下／唐人、水波に亀
勾欄は打金、金具付、象眼で、赤銅欄干十六本（前方二本、上段四本）の人形は龍と虎を彫り、加賀藩政時には柳町の至宝として衆目を集めた。

博労町

創建年代は、天保四年（一八三三）
・祭神…住吉明神　だし…神子鈴
・彫刻…鏡板／「唐美人と従者」（上段）　唐子（下段）
・幕（刺繍）…龍
舞台の前方には舳先に菊紋章をつけた舟を飾り、住吉明神によって町民の安全を守る意味をこめているという。
舞台の側面の貝螺鈿・車の透かし彫りも優れている。

今町

有名な「あやつり人形」の頭部に安政四年（一八五七）高山茂平と墨書あり、山車の創建もこれ以前と推定される。
・祭神…布袋　だし…千枚分銅
・彫刻…鏡板「聖賢五人」　舞台下／唐子、車輌八枚板
布袋和尚を本座に据え、相座に童子のでんぐり返しのからくりを仕掛けたのは、飛騨の高山祭の布袋屋台に共通していて、民族文化財としても貴重である。

北上野町

創建年代は寛政十年（一七九八）。
・祭神…関羽　・鉾留…打出の小槌
・彫刻…鏡板「聖賢と瓢を覗く唐子」
　　鏡板塗り／上段「唐獅子」三枚と「鳳凰」二枚
・幕…富士羽衣と鶴千載
框の上の金箔黒塗で彩色された斗拱出組と金糸銀糸の幔幕に総漆塗りの車輪（平成十五年修復）との調和は豪華絢爛。鉾留「打出の小槌」は輝きも鮮やか。

南上野町

花笠の中心部（鏑木）に寛政元歳（一七八九）、の文字が判読され、二百年以上経っていることを物語る。
・祭神…猩々　だし…錨
・彫刻…鏡板「竹林の七賢人」　舞台下／波に龍、波に亀
文化十五年（一八一八）能登所口、九藤屋又四郎作。祭神猩々は、能楽「乱」で世阿弥の作として有名。今日でも歌舞伎の「猩々物」として広く祝言に扱われている。鏡板は中国晋代に世をのがれ、竹林に集り清談をした七人の隠者。

上新田町

創建年代は、文化三年（一八〇六）。
・祭神…弁財天　だし…千成ひょうたん　芭蕉葉
・彫刻…鏡板「竹に虎」と「唐人」　舞台下／仙人と唐子
・幕…竹生嶋模様で明治五年（一八七二）町内有志が京都へ注文して寄附したもの。
舞台上は二重欄干が特徴で、朱欄干は菊花の鉱金、擬宝珠も豪華なものである。祭神弁財天はインドの河の神で音楽、弁才、財福、知恵の徳ある天女。

中新田町

創建年代は、文化年間（一八〇四～）
・祭神…武内宿祢・赤子（のちの応神天皇）　だし…唐冠
・彫刻…鏡板「すさのおの尊の大蛇退治」
　　舞台下／桐に鳳凰、亀に波、竹に虎、唐子と獅子
・勾欄下…浦島太郎・養老　・幔幕…唐冠と笛（刺繍）
透かし彫りの車輪の上に框（かまち）を載せその上を斗拱出組で積み重ね、さらに舞台を設けて、祭神を本柱（芯木）にもたせている。（富山置県百年曳山車祭参加出場）

下新田町

創建年代は、鏡板が製作された安政三年（一八五六年）頃。
・祭神…毘沙門天　だし…太鼓に鶏
・彫刻…鏡板「尭王に麒麟」　上段三枚彫「二十四孝の物語」　舞台下／水波に龍
鏡板の尭王は古代中国の伝説の聖王で政治を治める理想の天子とされている。高欄と舞台下は平成十六年四月彫り替え新調。材料は木曾檜、作者　番匠屋十六代田村与八郎（實）と十七代辰之助の両氏によるもの。